

所 属 鳥取県漁業協同組合（賀露支所）
氏 名 ひろさわ やすゆき
廣 澤 康 至 さん（35 歳）
船 名 かいしょうまる
海 翔 丸 4.9 トン
漁業種類 小型底びき網



～クールなサーファーは熱い思いを秘めて毎日海に向かう～

外食業等を経て 27 歳の時に漁業研修を受け、漁師という職業に就いた。

この仕事は、必ずしも一般的な会社員のように安定的な職場環境が用意されているわけではなく、自然環境にも大きく左右されるためリスクが大きい反面、頑張った分だけ成果になるので非常に“やりがい”を感じているという。また、組織体に縛られることなく、自分の意思で仕事を組み立て、創意工夫を凝らすところにこの仕事の醍醐味があると感じていらっしやるようだ。

まだ漁業者の中では若手の広澤さんが心がけているのは、先輩漁業者から技術とともに「考え方」を学び取ること。如何に自然状況にマッチした漁法や技術を選択するかが重要で、そうした判断をするためには経験などに基づいた「考え方」を身につけなければならないと、静かな雰囲気の中にも漁に対する熱い思いを語る。

天候に左右され出漁日数が限られる中、サーフィンと同様に波（チャンス）を逃さないよう日々全力で海に向かう。

～波に乗っている時がとにかく幸せ～

クールな雰囲気と筋肉質な広澤さんは、休漁日にも愛用のサーフボードとともに海に向かう。サーフィンを始めて 5 年、主に県東部の砂浜でサーフィンを楽しんでいる。「波に乗ることがとにかく気持ちいい。」と海での仕事疲れを海で発散するまさに海の男だ。

（文責：大里 純）